

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	対象地域においてコミュニティの健康が向上する
(2) 事業の必要性(背景)	<p>(ア) 事業国における一般的な開発ニーズ</p> <p>ケニア国保健行政は2005年に策定した「コミュニティ・ヘルス戦略」において、コミュニティをヘルスケア・システムの根幹に置き、コミュニティ・ヘルス・ワーカー（CHW）の育成を政策の主眼としている。</p> <p>この戦略では、各地域で凡そ50人のCHWと5000人の人口でひとつのコミュニティ・ユニット（CU）を設立。CUは、CHWと住民、そしてCHWの活動を支える地域保健委員会（村の長老等。Community Health Committee: CHC）、保健行政から任命されCHWを監督・助言するスーパーバイザー（Community Health Extension Worker: CHEW）から構成される。</p> <p>CHWは村の住民の中から互選され、担当世帯の健康状態を把握し、住民の予防的保健行動を促進し、罹患時には適切な保健医療サービスを求めるよう住民に促す。CUは自分たちが直面する健康問題を認識し、解決のための行動をおこす能力を得ていくことが期待される。CHWを中心とした地域や家庭での予防的保健行動の推進は、特に肺炎、下痢症のような感染症の予防、対応や、処理されていない飲料水など健康に係る危険因子への曝露の軽減において重要な役割を果たすことが期待されている。</p> <p>こうした取り組みの結果、必要な保健医療サービスの拡大や、子どもの死亡率の改善や感染症の予防について効果が表れていることから、ケニア政府は引き続きコミュニティ・ヘルス戦略を改善・強化していくことを、今後も保健戦略の基礎とする意思を明確にしている。しかし実際には、予算や人員の投入が十分になされておらず、CU拡大は計画通りに進んでいない現状にある。</p> <p>(イ) 事業地のニーズ</p> <p>対象地のケリチョーカウンティ旧ケリチョー県（現在のケリチョー県、ベルグット県）においては、財政、人員共に不足していることから、2012年の時点でCHWの育成が全く着手されていない状況にあった。</p> <p>特に人口4万人あまりのソイン地域は旧行政区分における州境に位置し、人口密度が最も低く交通の便も悪いため、最寄の医療施設まで徒歩で数時間を要するなど行政サービスが届きにくい地域である。当団体が行った調査によれば、ソイン地域での施設分娩率は27.8%と、ケニア国の平均値43%を大きく下回る。また、何らかの原因で自分の子供の死亡を経験した母親は1割に上っている。基本的な衛生環境も整っておらず、トイレがある家庭はケニア国平均43%を下回りわずか23.3%にとどまっている。</p> <p>これらの状況を受け、当団体では2012年より、コミュニティの健康向上を目指し、CHWの育成を開始した（JICA草の根技術協力事業として実施中。2014年1月終了予定）。ケリチョー県保健行政と協働し、ソイン地域ソイン地区の4副地区のうち、2つの副地区においてCUを設立、約80名のCHWへの基礎研修を終えた。しかし、一度の研修を受けたのみのCHWは、知識・技術共に十分に有するとは言えず、県保健行政からCHWへ、家庭訪問実施状況や村人の健康状態の把握についての進捗確認も十分になされていない。そのため、地域住民が健康問題を理解し、コミュニティが主体となって問題解決のための行動を計画し実行に移すまでには至っていない。</p> <p>また、公衆衛生省と医療サービス省の再統合や地方分権化により、保健行政にも混乱がみられ、ケリチョーカウンティ内での保健行政の協働は十分になされておらず、カウンティ全体として、コミュニティ・ヘルス戦略の実行は遅々として進んでいない現状にある。</p> <p>そこで本申請事業では、先行事業で育成した2つの副地区のCHWの知識・技術</p>

	<p>を定着させ、活動の自立化を図るとともに、県保健行政との連携を強化して、活動の持続発展性を確立する。さらにその経験をもとに新たに3つのCUを設立し、ケリチョーカウンティにおけるコミュニティ・ヘルス戦略の確立と拡大を目指す。</p>
<p>(3) 事業内容</p>	<p>本事業は事業期間を3年間と予定し、ケリチョーカウンティのケリチョー県・ベルグット県において、コミュニティを中心としたヘルスケア・システムが機能することを旨とする。</p> <p>1年次はソイン地域のソイン地区において、CHW、CU及び地域住民、県保健行政の能力強化を図り、コミュニティが主体となって健康問題を解決する持続的なヘルスケアのしくみの構築をめざす。2年次以降はソイン地区での経験を踏まえ、ソイン地域の他地区、ケリチョー県の他地域、及び隣接するベルグット県のパイロット地域の3つの地域で同様にして凡そ150名の新たなCHWを育成、3つのCUを設立する。これら全5CUにおいて、コミュニティが主体となったヘルスケア・システムのモデルを構築し、そのモデルがケリチョーカウンティ内で共有され自立的・持続的に活動が展開されるとともに、長期的には、遠隔地におけるヘルスケア・システムの一つのモデルとしてケニアの保健政策に対し有益なインパクトがもたらされることを目指す。</p> <p>この目標を達成するため、1年次は下記の活動を行う。</p> <p>(ア) ソイン地域 CHW の知識と技術の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な知識習得の研修を受けたのみのソイン地域の約80名のCHWに対し、ニーズに沿った知識のブラッシュアップ研修の実施。 ・ 紙芝居等の携帯可能な啓発教材の開発。 ・ 健康状態のチェック項目や、病人を診療所へ紹介する際の根拠を確認できる携帯本を開発し、これらの教材を使用した研修を実施。 ・ 保健省から支給された、各家庭の健康状態を把握するための記録台帳を、地域の実情やニーズに沿った形に改善。CHWがそれらのツールを使用するための実地研修を実施。 ・ 対象地のCHWが、すでに数年にわたって活動をおこなっている他県を訪問する実地研修の実施。 <p>(イ) 県保健行政からCUへのモニタリング、情報利活用の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CHWが収集した情報を、県保健行政から任命された看護師または保健師が務めるスーパーバイザー（CHEW）に報告し、さらにCHEWから県保健行政に報告がなされる仕組みを構築する。これらの情報の管理方法を開発し、県の担当官がCHWからの報告を適切に管理・活用できるようにする。また、CHWが報告した情報や地域の保健状況を県行政が共有、分析するための関係者会議を定期的開催する。 ・ CHEWや担当行政官が自身の役割や仕事の進め方を習得できるよう、他県の同じポジションの行政官のもとでのオン・ザ・ジョブトレーニングを実施する。 ・ CHEWが彼らを管理・監督するための台帳を開発する。このツールを使用してスーパーバイザーがCHWひとりひとりの活動を評価し、月例会議の場やCHWの家庭訪問に同行する際などにフィードバックしていく体制を構築する。高い評価を受けたCHWは月例会議で表彰するなど、動機づけの工夫も行う。 ・ これら行政官に対する研修などは全て、先行事業で築いてきた強固な協力関係と信頼関係をもとに、県保健局長や県公衆衛生官長と緊密に協議、報告を行いながらすすめていく。 <p>(ウ) ソイン地域においてコミュニティが健康問題解決策を検討</p> <p>県保健行政とCHWが、CHWからの報告やスーパーバイザーの結果に基づいて、コ</p>

	<p>コミュニティの健康問題について討議する会議を定期開催する。この会議は、CHWに足りない情報や知識が適時簡単な講義として補われる場とする。</p> <p>また、CHWが保健行政からのフィードバックや自身の活動の中で気づいた点を村の住民へ伝達し、健康問題の解決策を討議する会議も実施する。この会議には地域の統治行政官や、他省の行政官など利害関係者も出席し、各地域でのニーズに基づき、住民自身により問題解決に向けたアクションプランを作成、解決策を試行する。これらの活動は保健行政やコミュニティの統治行政官により進捗確認される。</p> <p>2年次以降の活動は下記のとおりである。</p> <p>(エ) ケリチョー県保健行政が新たなCUを立ち上げ運営する</p> <p>ケリチョー県のソイン地域において、保健行政が当団体からの技術的な支援なしで自立的に新たなCUを立ち上げることを目指す。本事業からの資金投入と行政自身の計画運営により、CHW、CHCの研修を実施し新たなCUを立ち上げ、1年次の活動を踏襲する形でCUを運営していく。また、隣接するアイナモイ地域でも、アイナモイ地域専属のスーパーバイザー（CHEW）を養成した上で、CHW、地域保健委員会（CHC）の研修を実施し、同様にしてCUを立ち上げ1年次の活動を踏襲し運営する。</p> <p>(オ) ベルグット県保健行政が新たなCUを立ち上げ運営する</p> <p>2年次からは活動の重点をケリチョー県に隣接するベルグット県に移す。2年次はベルグット県のパイロット地域において、県行政、CHEW、CHC、CHWの研修を行いCUを立ち上げる。3年次はケリチョー県で先に運営されているCUの経験を活用し、コミュニティを中心としたヘルスケア・システムの構築を目指す。</p> <p>2013年7月から公衆衛生省と医療サービス省は統合され、カウンティ制による地方分権が始まる予定だが、実施体制等は未定であることから、提案事業の2年次以降の計画は今後の保健行政、ケリチョーカウンティの決定に柔軟に対応しつつ修正していく予定である。詳細については、別添資料②に詳述した。</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<p>(ア) 保健行政との協働</p> <p>本事業は、保健政策の中でも優先課題となっているコミュニティ・ヘルス戦略に沿うものであり、先行事業から続く保健行政当局との協力関係を持続させ、事業終了後も行政の主体性をもって継続されるよう支援する。</p> <p>(イ) CHWの動機付け</p> <p>本事業ではCHWへの給与支払いは想定していない。本事業から生み出される一連の成果そのものが、CHWの動機付けとなり、本事業の要となる彼らの活動の持続性が担保されるよう計画されている。</p> <p>(ウ) 地域住民の主体性と女性の参画</p> <p>地域での活動は常に、長老、統治行政官、宗教者や地域のリーダーを巻き込み、合意の上で進め、住民の主体性を重視する。また、CHWには最低3分の1の割合で女性が選出されるよう促し、妊産婦や子どもの健康問題の解決に女性が主体的に関わっていくことを促す。</p>
<p>(5) 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>裨益者：</p> <p>① 1年次の直接裨益者数：約100名 <内訳>CHW80名、保健行政関係者約20名。</p> <p>1年次の間接裨益者数：約4,300名 <内訳>ケリチョーカウンティ、ケリチョー県ソイン地域ソイン地区カブレラッチ、カプタラムワの両副地区の住民 約4,300名。</p> <p>② 1～3年次合計の直接裨益者数：約300名 <内訳>CHW約250名、保健行政関係者約50名。</p>

1～3 年次合計の間接裨益者数：約 19,300 名

<内訳>ケリチヨーカウンティ、ケリチヨー県ソイン地域の対象副地区の住民約 9,300 名、ケリチヨーカウンティ、ケリチヨー県アイナモイ地域の対象副地区の住民約 5,000 名、ケリチヨーカウンティ、ベルグット県の対象副地区の住民約 5,000 名。

事業により達成される目標

コミュニティを中心としたヘルスケア・システムが機能する。

【指標】

- 住民ニーズ評価の実施状況
- 住民による CHW の評価（認知度、利用度、信頼度等 7 割以上）
- 住民の参加度（労力、資金提供）
- トイレを使用する家庭の割合 30%増加
- 手洗いを実施する人の割合 30%増加
- CU 運営にかかる県保健局の学び

【指標確認方法】

ベースライン調査、エンドライン調査、CHW レポート、CHEW モニタリングレポート

事業により期待される成果

【成果 1】既存の CHW が自身の役割を遂行できる。

【指標】

- CHW のプレ/ポスト結果の推移
- CHW のレポート提出率 7 割以上
- CHW から施設へのリファー数
- CHW が健康教育を実施する回数

【指標確認方法】

研修プレ/ポストテスト、CHW レポート、CHEW モニタリングレポート

【成果 2】ケリチヨー県保健局から CU へのモニタリング体制及び情報利活用が改善される。

【指標】

- CHW から CHEW へのレポート報告の回数 4 半期に 1 回以上
- 保健行政関係者会議の実施回数 年間 8 回以上の開催
- CHEW のモニタリングレポート報告の回数 年間 8 回以上報告

【指標確認方法】

会議議事録、CHW レポート、CHEW モニタリングレポート

【成果 3】既存の CU においてコミュニティが健康問題を理解し、解決策を検討することができる。

【指標】

- CHW と関係者の会議実施回数 4 半期に 1 回以上
- コミュニティにおけるアクションプランの有無
- アクションデーの実施回数 4 半期に 1 回以上

【指標確認方法】

会議議事録、CHW レポート、CHEW モニタリングレポート

【成果 4】ケリチヨー県保健行政が新たな CU を立ち上げ運営する。

【指標】

- 新たに研修を受けた CHW の数
- 女性 CHW の割合が 3 分の 1 以上となる。
- CHW のプレ/ポスト結果の推移
- CHW から施設へのリファー数

	<ul style="list-style-type: none"> ● CHW が健康教育を実施する回数 ● CHW から CHEW へのレポート報告の回数 4 半期に 1 回以上 ● 保健行政関係者会議の実施回数 年間 8 回以上の開催 ● CHEW のモニタリングレポート報告の回数 年間 8 回以上報告 ● CHW と関係者の会議実施回数 4 半期に 1 回以上 ● コミュニティにおけるアクションプランの有無 ● アクションデーの実施回数 4 半期に 1 回以上 <p>【指標確認方法】 研修フ・レ・ポ・ス・テ・ス・ト、会議議事録、CHW レポート、CHEW モニタリングレポート</p> <p>【成果 5】ベルグット県保健行政が新たな CU を立ち上げ運営する。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たに研修を受けた CHW の数 ● 女性 CHW の割合が 3 分の 1 以上となる。 ● CHW のプレ/ポスト結果の推移 ● CHW から施設へのリファー数 ● CHW が健康教育を実施する回数 ● CHW から CHEW へのレポート報告の回数 4 半期に 1 回以上 ● 保健行政関係者会議の実施回数 年間 8 回以上の開催 ● CHEW のモニタリングレポート報告の回数 年間 8 回以上報告 ● CHW と関係者の会議実施回数 4 半期に 1 回以上 ● コミュニティにおけるアクションプランの有無 ● アクションデーの実施回数 4 半期に 1 回以上 <p>【指標確認方法】 研修フ・レ・ポ・ス・テ・ス・ト、会議議事録、CHW レポート、CHEW モニタリングレポート</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------